

## 第25回 クロモジェニック研究会

主催:クロモジェニック研究会

### クロモジェニック材料研究の最前線

【日 時】 2022年1月21日(金)14:00-16:45

【場 所】 Microsoft Teams を用いたオンライン開催

#### 【プログラム】

14:00-14:45 「クロモジェニック・スマートウインドウの最近の動向」

ナノフィルム・ラボラトリ 永井 順一

概要:「スマートウインドウは開発されてから40年余りの歴史があり、種々の構成のものが商品化されており、各種光学特性、サイズ、応答性のものがある。本講演ではそれらの基本的なコンセプトと最近の動向について述べる。」

14:45-15:30 「メタロ超分子ポリマーを用いたエレクトロクロミックデバイス」

物質・材料研究機構 樋口 昌芳

概要:「メタロ超分子ポリマーにおけるエレクトロクロミック特性をこれまで明らかにしている。今回、ポリマーやデバイスの最適化による着色効率の向上、駆動電圧の低減、蓄電特性の発現、フレキシブル化、実用化に向けた取り組みを紹介する。」

\*\*\*\*\* 休憩(15分) \*\*\*\*\*

15:45-16:30 “Spectral-Selective Thin Films: Dynamic, Static, China and International”

中国科学院上海セラミックス研究所 金平 実

概要「波長選択性を持つ光学薄膜は、省エネ窓材をはじめ、様々な分野で使われている。その選択性として固定型(例えば低放射ガラス)と、スマート型(クロモジェニックガラス)、2種類が知られている。本講演は、波長選択材料について、所在研究グループ近十年間の内容と成果を紹介するとともに、クロモジェニック材料研究について、国内と国際を対照しながら紹介を行う。」

16:30-17:00 「液晶／液晶高分子のメゾ相分離形成と温度応答型の調光窓への展開」

産総研 構造材料研究部門 光熱制御材料グループ 垣内田 洋

概要:「混合原料を透明基板に薄く挟み光照射することで、自己組織的に標記素子を作製できる。これは、共配向した液晶と液晶高分子とが、光波長程度の大きさで相分離した構造からなり、液晶の熱相転移で、光散乱ひいては半球透過率が変わる。」

【参加費】 無料

**【参加申込方法】**

2022年1月14日(金)17:00までに下記URLの申込ページよりお申し込み下さい。

<https://forms.office.com/r/ezDLNipts>

**【連絡先(事務局)】**〒305-8565 茨城県つくば市東1-1-1 つくば中央 第5事業所

産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター

渡邊 雄一 Tel 029-861-4536 Fax 029-861-6821

e-mail: [yuichi.watanabe@aist.go.jp](mailto:yuichi.watanabe@aist.go.jp)